

山口大島みかんを出荷しました



▲テープカットの様子

平成23年産山口大島みかんの初荷出発式が9月26日、久賀の山口大島農協第一選果場で行われました。

今年は昨年の干ばつなどの影響により樹勢が低下していましたが、県や町からの助成による液肥や堆肥を施すことにより樹勢の回復に努め、天候にも恵まれたため、美味しい果実に仕上がっています。

式典に続いて、テープカットとくす玉割で初荷を祝い、拍手に送られて極早生みかんを積み込んだトラックが県内の市場に向けて出発。山口大島みかんとして店頭に並びます。



町防災訓練を実施しました

9月4日、東和中学校グラウンド周辺で、町防災訓練が実施されました。当日は東南海・南海地震（震度5強〜6弱）が発生したと想定し、長崎・西方・下田地区に津波の恐れと、家屋倒壊の恐れがあるため、約380世帯に避難勧告が発令された後、住民の避難訓練や消防団などによる救助訓練、放水訓練が行われました。

また、移動無線車による災害伝言ダイヤルの体験や、救急救命講習会なども実施され、防災意識を高めました。

◀ 放水訓練



▶ 災害伝言ダイヤルの体験

ボランティアを続けて10年

家房地区の主婦を中心に結成されたカトレアクラブが9月13日、軽費老人ホーム慈光荘で開催された敬老会でフラダンスを披露しました。

カトレアクラブは平成12年に結成され、フラダンスでの慰問などのボランティア活動を続け、昨年会を設立して10周年を迎えました。

カトレアクラブ代表の吉本恵都子さんは「これからも慰問を続けフラダンスを通じ、みなさんが喜んでいただけたら嬉しい限りです。」と抱負を語られました。



▲フラダンスを披露するカトレアクラブ